

令和5年3月3日

本原小学校保護者 様

本原小学校長
柳原 孝一

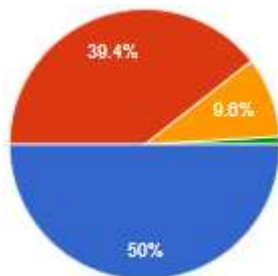
令和4年度本原小学校前期学校評価アンケートについて

3学期に実施した学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。保護者の皆様、児童に実施したアンケート結果は下記のとおりです。

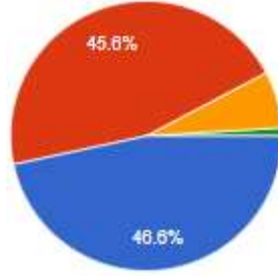
凡例は、 そう思う… ● A だいたい思う… ● B あまり思わない… ● C 思わない… ● D

保護者アンケート：お子様に関すること 回収率 64.2%

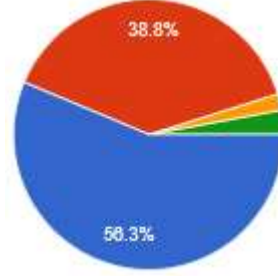
設問1 学校へ楽しく通っている



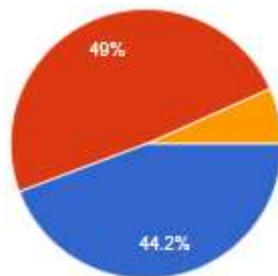
設問2 授業は分かりやすい



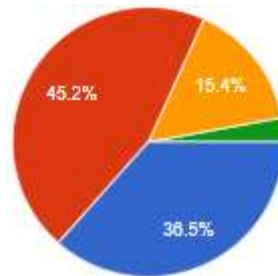
設問3 手伝いやそうじ



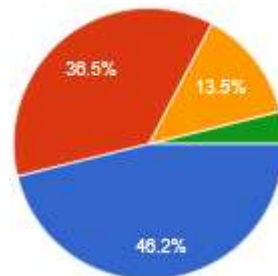
設問4 自分にもよいところがある



問5 自分からあいさつ

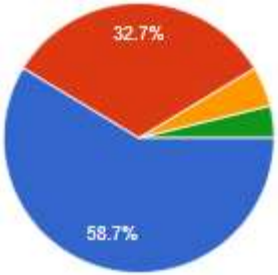


設問6 外遊びや運動

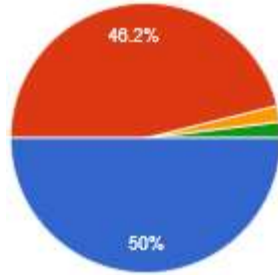


保護者アンケート：学校、職員に関すること 回収率 64.2%

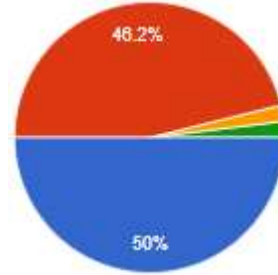
設問1 一人一人の子どもを大切に、学級づくりや学校づくりに努めている。



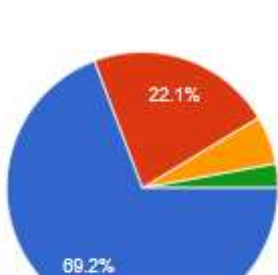
設問2 様々な教育活動・体験を通して元気な身体と心づくりに努めている。



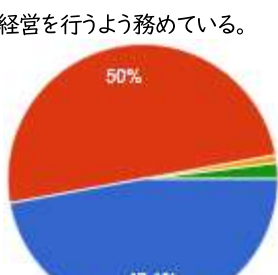
設問3 安心メール、おたより、ホームページで情報を伝える



設問4 連絡帳、電話で連絡している。



設問5 PTA やボランティアと連携し、学校経営を行うよう務めている。



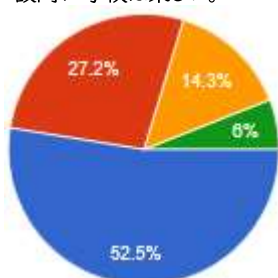
保護者アンケート：お子様に関することについては、[設問1]、[設問2]、[設問3]、[設問4]の4項目において、8割以上の肯定的な評価をいただきました。[設問1]の「学校は楽しい」について、肯定的評価は89.4%でしたが、前期よりもA評価を1割ほど下げました。[設問2]の授業の分かりやすさについては、肯定的評価が94.2%であり、上半期よりも大きく伸びています。手伝いやそうじの[設問3]のA評価が58.3%と半数以上の伸びがありました。

保護者アンケート：学校、職員に関することについても、全設問で9割の肯定的評価をいただきました。あたたかく学校を見てくださり、また日頃より支えてくださっていることが伝わってきます。[設問4]の家庭との連絡についてはA評価で58.2%の評価をいただき、大変ありがたく受け止めております。

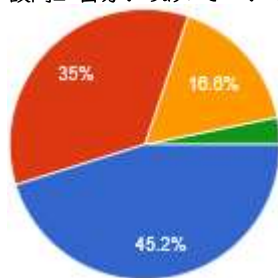
一報、[設問1]の学級づくりや学校づくりに関する問いでは肯定的評価を9割以上いただきましたが、C評価 4.8%、D評価 3.8%であり、気になります。1割弱の評価について、重く受け止めてまいりたいと思います。

児童アンケート

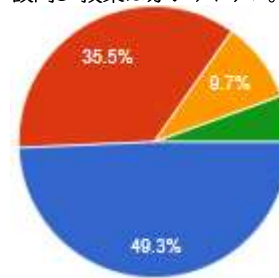
設問1 学校は楽しい。



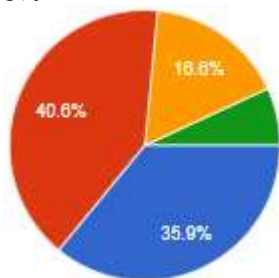
設問2 自分からあいさつができる。



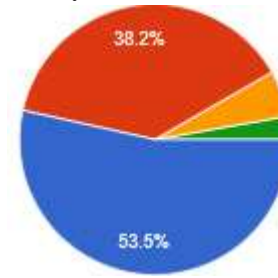
設問3 授業は分かりやすい。



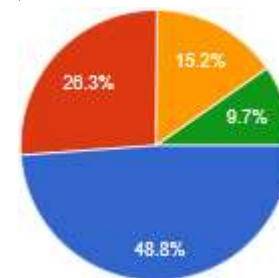
設問4 自分にはいいところがあると思う。



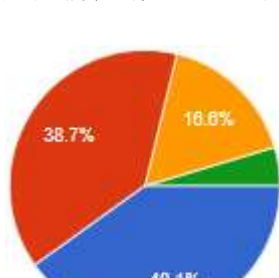
設問5 当番や委員会の活動によく取り組んでいる。



設問6 外で遊んだり元気に運動をしたりする



設問7 授業で様々なことを進んで考える。



設問8 授業で友だちの考えを聞いたり相談したりして、もっと考えるようにしている。



設問9 授業で自分の考えを書いたり先生や友だちに伝えたりすることができる。



児童アンケートでは、[設問1]学校は楽しいについて79.7%の児童がそう感じており、ありがたい一方、20.3%の消極的な評価が気になります。学校として励みとしていきたいと思います。昨年度よりA評価が減少、今回の8.1%のC、5.6%のD評価が気になりました。[設問2]のあいさつについては、例年評価が低めですが、今回A、B評価で80.2%で、若干向上しました。保護者アンケートでも83.1%の肯定的評価でした。

今回、当番や委員会の活動を問う[設問5]について、A評価だけで53.5%と、半数を超えました。上半期よりも大幅に向上し、子どもたちのがんばりにうれしい気持ちとなりました。

令和5年度に向けて

▶ 楽しい学校をめざして

学校の基本である授業の分かりやすさについて、大きな課題として、分かる授業、定着する学力をめざし、児童の願いを受け止めた支援を、継続して研鑽してまいります。特に、コロナ禍で遠慮されていた、友だちとの関わり、対話的な授業について、少しずつ取り戻し、自分の考えと相手の考えをよく聞き合い、考えを深めていかれるようにしていきたいと思います。

▶ 日常生活の基本の定着

あいさつについても、地域の方からは、本原小の子どもたちのあいさつのよさを伝えていただいております。登下校中でのあいさつや横断歩道を渡ったあとのお辞儀のよさも、引き続き評価してくださっています。地域や保護者の皆様とともに、基本的な日常生活について継続して、よりよいものにしてまいります。

▶ 信頼関係を高めていくこと

すべての項目に見られるC評価、D評価について、どう取り組んでいくかが、大きな課題であると感じております。特にC評価が全般に増加した印象です。教職員と児童との信頼関係、教職員と保護者の皆様との信頼関係がなくしては、いい学校にはならないと考えます。今回、あたたかな評価をいただいたことを励みとして、さらに連絡や情報の交換を通して、信頼関係をさらに築いていかれるよう努力してまいります。

▶ お感じのこと、学校に伝えたいことから

さまざまなご意見を頂戴いたしました。職員でも話し合いながら、よりよい本原小にしたいと思っております。

□子どもへの接し方

「安心して通学することができました」「毎日楽しく通っています」「ていねいに先生が接してくださりありがとうございます」といったあたたかなお言葉が多く寄せられました。道路での横断のあとのお辞儀についてもお褒めの言葉を複数いただきました。ありがとうございます。

□コロナ対応

学校行事、特に参観日、学級懇談会の中止、音楽会や運動会等の対応について、さまざまなご意見をいただきました。状況によっては、タブレットによるオンラインでの配信等の可能性を広げていく必要があります。今後、国や県、上田市の方針を受けて、5類になることを受けての対応を探ってまいります。

■課題について

けんか、言葉遣い、教職員の対応や指導等、具体的な状況をお伝えいただきました。また、教師の授業の進め方、子どもへの接し方についての課題等も、具体的にご指摘いただきました。子どもへの見方、捉え方へのご意見、子ども一人一人への対応や接し方についてお感じになったことも寄せられました。

学校でも学習指導や学級経営への改善につながるよう、対応を進めております。子どもたちへの対応、学校や学級でのルールの確認、よりよい子どもの学習につなげられるよう努力してまいります。また、保護者の皆様とはじゅうぶんに状況を共有しながら、よりよいあり方を探ってまいりたいと思います。

子ども一人一人のよさを認めていくということを再認識しながら、今年度を振り返り、次年度へ改善できますよう努力してまいります。